

未来のために、明治安田が今できること



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特に注力する優先課題

2「大」プロジェクトを通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます (詳しくはP11-14参照)

健康寿命の延伸

3 すべての人に健康と福祉を



地方創生の推進

11 住み続けられるまちづくりを



さらなる取組みが必要な優先課題

事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化しています

環境保全・気候変動への対応

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

その他の優先課題

- 金融包摂(金融アクセスの確保等)
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備

環境保全・気候変動への対応

脱炭素社会の実現に貢献するため2050年度にCO₂排出量ネットゼロに取り組みます

事業者としてのCO₂排出量削減への目標と取組み

	Scope1・2 ^{*1}	Scope3 ^{*2}
2021年度実績	△31%	△19%
2030年度目標	△50%	△40%
2050年度目標	△100% 排出量ネットゼロを実現	

(2013年度比)

機関投資家としてのCO₂排出量削減への目標と取組み

	Scope1・2 ^{*4}
2021年度実績	△34%
2030年度目標	△50%
2050年度目標	△100% 排出量ネットゼロを実現

(2013年度比)

再生可能エネルギー導入の推進

Scope1・2のうち約8割が事業活動で使用する電力由来であることをふまえ、再生可能エネルギーの導入を推進しています。主要な本社機能が入居するビル3棟^{*3}での使用電力、年間約4,570万kWhをすべて再生可能エネルギーに切り替えました。



(本社ビル等へ再生可能エネルギーを導入)



CO₂を排出しない再生可能エネルギーは、脱炭素社会実現のための重要な手段の一つです

ESG投融資の推進

2021年度からの3年間で5,000億円の投融資を実行する計画に対し、2022年度末までに累計約7,000億円と前倒しで達成したため、計画を8,000億円以上に引き上げ、推進しています。



©IDB Invest (脱炭素社会の実現に資する「トランジションボンド」への投資)



ESG投融資とは、財務情報だけでなく、非財務情報の環境や社会、ガバナンスといった要素も考慮して、投融資する方法です

^{*1} Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出
^{*2} Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、6つのカテゴリー(1、3、4、5、6、7)に限定して算出。カテゴリー15(投資)は機関投資家としての排出量として管理
^{*3} 本社所在地である明治安田生命ビル(明治生命館含む)および、明治安田生命新東陽町ビルおよび明治安田生命事務センタービル
^{*4} 国内上場企業の株式・社債・融資が対象